

さしあかしくさ、木筋はゆる

東唐寺

上林猷夫

導師僧侶一人、

五人の男と女、真夏の夕暮れ時を待った

一列に従って山をよつて行く

線香二束

小さな水桶二個を持つ

墓地は山の山の麓に

下の墓地の群衆に

北風を向けて座している

僧侶誦経し鉦を打つ

好きな花が指してある

一人一人がかかんで線香を焚く

桶の水を汲んでかける

しばらく流し流しをしない

わがこ

僧侶を先にしる墓地を下りる

一列になつて黙つて墓地を下りる

東唐寺の墓